

奈良高専 図書館だより

No.13

記事

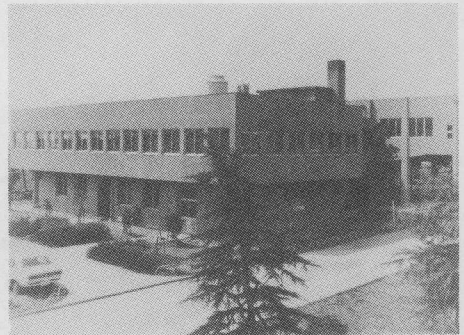
1. 奈良高専図書館に想う
2. 心に残った言葉(Ⅱ)
3. 昭和56年度利用統計
4. 読書週刊の催し案内
5. 新着図書目録

1982年10月 奈良工業高等専門学校 発行

奈良高専図書館に想う

奈良高専校長

桜井 洸



「読書百遍、意自ら通づ」と古語にうたわれている。私は子供の頃から教科書は勿論、童話集、文学書、専門書などを何回も繰り返し読んだものである。その繰り返す都度前回に感じなかった新しいものを発見し、意味深く印象づけられることを経験した。今になって専門をはじめ諸活動の場で色んな著書、文章を依頼される機会が多くなったが、その都度かなりの準備期間をとって、関連の書物、文献、資料などを探し集め、勉強をした上でペンを取る。どんなベテランの人々でも著書には並大抵でない労力、エネルギーをついやされているものである。

情報化社会といわれる昨今では書物も非常に多く出版され、専門書にしてもどれを読むべきか選択にむしろ困るようなこともあるぐらいである。いづれも著者の精魂が込められた集大成と考えると誠に有難い世となったものである。しかしこのように過飽和な状態になると、人間はとかくいつでも必要な時には読めるのだからという気持ちになってむしろ「図書離れ」が起こるきらいがある。

先だって「企業における高専卒業者のその後」について数社の幹部から話を聞く機会があった。入社して数年は仕事に生甲斐をもって実直で与えられた問題に専念する優れたものがあるが、一般に読解力、特に語学力に欠けており、さらに10年して管理者、指導者の地位につく頃になって、多くの人々に良識をもって対処できるような教養、並びに幅広い知識と基礎学力の不足を感じられる者が多いと、口を揃えて言われたのにはいささか困惑したことであった。

この4月、大学から転任して来た私の感じることは、高専では生活指導をも含め、教官自らの研究も出来ないぐらい、至れり尽せりの教育が行われており、学生はそのカリキュラムをマスターして試験に点数をとることで充分と考えているのではなからうかと案じる。今の専門技術にしても昔のようにある限られた専門だけでは不十分で、専門外の知識をもって必要によってはどしどし専門外の協力、あるいは共同開発を行わねばならない。人間関係や、その交流が重要になってくる。それがためには在学中に

色んな意味の幅広い人間となるよう自主的な課外活動と同時に専門書、教養書、文学書、娯楽書などがととのえられた図書館を大いに利用し、読書の習慣をつけねばならない。大学では教官自らの研究にかけるウェイトが大きく、その教育はむしろ「親がなくとも子は育つ」式をつっぱねの教育で学生の自主的努力に待つ所が多い。専門書、文献（外国のものを含む）の読解は勿論、文学書、趣味的な書物などを学生が自由にものにしていて、これらが企業入社後の差、開きに影響してきているのではなかろうか。

このような観点からもっと親しまれる本校の図書館でありたい。それには読書し易い雰囲気づくりのための改善、改造あるいはスペースの拡張なども必要であろう。一方レンタルによる研究用コンピューターの更新も検討されているときでもあり、この際教務に関する情報処理、事務書類の作成などと並び図書室にワーク・ステーションを置いて、全蔵書のファイルを作成し、書籍の貸し出しカードの発行、期限切れ貸し出し書の検索と学生への通知書の作成、どのような書籍が読まれているのか利用率を計算し、新規購入に対する書籍選択の資料作成などが機能的に行なえるようになってゆきたいものである。

それと共に図書館員の適正人員も一考に価するのではなかろうか。しかしそれまでしなくとも学生の図書館利用度が低く、またこれからもそう伸びないであろうということであっては誠に困ったことである。



心に残った言葉

抜粋ノートよりー（２）

5C

読書などをしたとき、心に残った言葉をノートに書きとめておきたいものです。10号に掲載した続編として掲げました。少し過去のものですが、現在の学年にしておきました。

- 面白半分ということばにはほどほどを尊重する精神がある。軽薄を是としながらも、それを恥じる心がある。 「天声人語」
- 結局機械に奉仕するためだった。ただ歯車のその一つになるためだった。 「アラビアのロレンス」 5C 平山 淳
- 人間は創造的世界の創造的要素である。 「生と死の記録」
- 人間の自由は、他人の自由が始まるところで終わる。
- 第一志望校に合格できた生徒は、一応それで満足できようが、そうでない生徒にとっては、やはり高校進学そのものが「人生第一のつまずき」といった一つの重大な挫折、あるいは、大きな失望や不満であることを意味している。 田代三良 「高校生」
- 若者の最初の愛情は、あくまでも精神的な方向を取るものである。 「人間ゲート」 5C 岡崎 修次
- 顔を合わせるだけでむしずが走る、そんなやつほどなつかしいものだ。

「俺たちの旅」

- 親を思う子供、子供を思う親、他人から見れば、どちらもピエロなんだなあ。

「永 六輔」

- 人は過去や未来を生きているのではない。現代というこの時間を生きているのである。

「朝日ヶ丘の大統領」

- 時は得がたくして失いやすい。

「生きる力」

5 C 上林 志朗

- 人は孤独のうちに生まれてくる。おそらく孤独のうちに死ぬだろう。

福永武彦「愛の試み」

- 人は自分の目で内部を見つめなければならない。

「愛の試み」

- 自分の明日を貧欲なまでに大切にす。

「人間ゲート」

- 一瞬の喜びが千倍もの苦しみを償ってくれる。

「人間ゲート」

- おれは策略で勝っても人間としては負けたのだ。

夏目漱石「こころ」

5 C 岡 茂

- あすはひのきになろう、あすはひのきになろうと一生懸命考えている木よ。でも、永久にひのきにはなれないんだって。それで“あすなろ”と言うのよ。

井上 靖「あすなる物語」

- 恋愛では信じられたいと思う。友情では見抜いてもらいたいと思う。

ボ・ナール「友情論」

5 C 大石 雅樹

- 何かをしようとする者は、若く、金がなく、かつ無名でなくてはならない。

「地図にない旅」

- 自分の弱点や欠点だと思っ込んでいる部分を他人から隠そうとする。そこからすべてのマイナスが生まれてくる。

五木寛之「四季・奈津子」

- 冗談の中に本音が隠されている。

「四季・奈津子」

5 C 上嶋 秀和

- 長い旅路にあってさすらいの悲しみと喜びを味わいつくしたものでなければあの雲の心はわからない。

「ヘッセの詩」

- 幸せはどろまみれであり、不幸はめざめである。

「生きるとは何か」

- 自由の最大の敵は自分自身であることに気づく人は少い。

「愛の無常」

- 人を感動させて、自分に持ち合わせない力を他人に発揮させて新しい効果を作り出すことは、科学技術の研究開発のような未知の世界を開拓してゆく事では、きわめて重要である。

「創造の思考と技術」

5 C 南口 尚士

- あんな奴でも一人前に月給取ってるんだからなあ。 — 中略 — オレ希望持って来たな。

曾野綾子「太郎物語」

- 僕、生まれてはじめてタテ社会ってもの身にしてみてわかったよ。

「太郎物語」

5 C 田頭 君行

- 人間の中において、ソッポを向かれてポツンとしている。これが孤立だ。孤独は、だれもいないところにひとりであることである。おきざりにされた孤立には、とても耐えられない。しかし周りに人がいないというだけの孤独なら、いつかはがまんできるようになる。

- ひとつの苦しい経験があれば、それ以下の苦痛には耐えられる。

長谷川恒男「北壁に舞う」

- たしかに学校は勉強する所であり、私たちに学ぶ権利があります。しかし、クラブ活動やその他の自治活動を軽視する人がほんとうに学んでいるといえるのでしょうか。授業にほんとうに主体的に取り組む人は、クラブ活動を含めた自治活動にも目を向け、それに積極的に取り組んでいくはずです。また学習を放棄した人が、いくらクラブ活動に身を入れても得るものはないと思います。

田代三良「高校生」

5 C 松永 聡志

- 人はそれぞれの「道」の中でどのようにつく、希望などがひとかけらもないそのような時でも砕かれた魂を一ついただいた人に出会えるのだ。

「道ありき」

- 何かをつくるということは、それこそ真剣勝負で全力をうちこまなければならない。

○ 人生の事実は単に素材で、そこから何かを作るのが人間の仕事である。

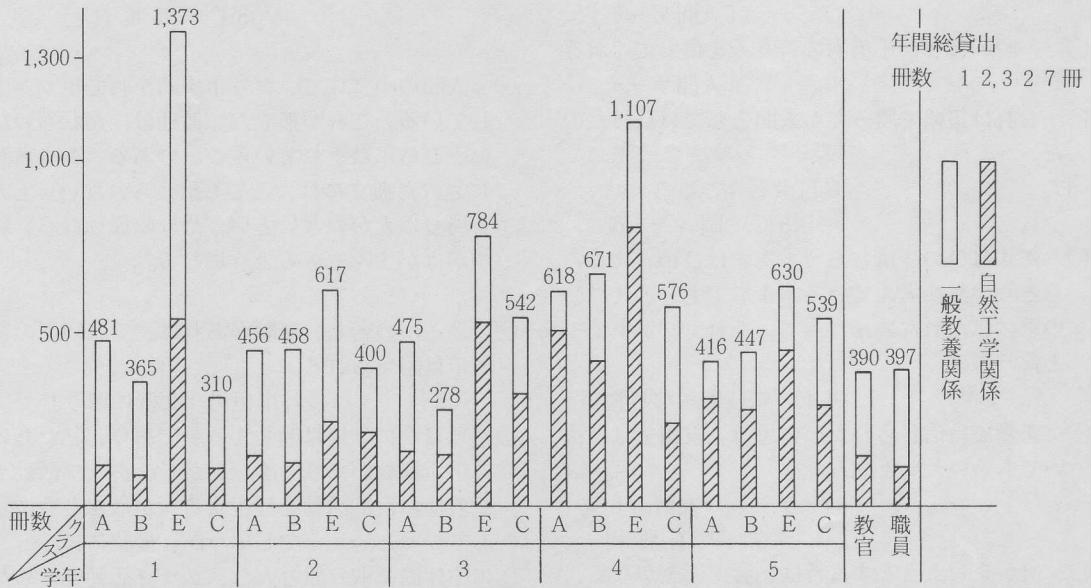
5 C 竹田 正人

昭和56年度 図書館統計にみる

図 書 室

次のように昭和56年度の図書室の利用統計ができました。この数字の高下は図書室職員にとって一つのバロメーターとなります。図のように、学年、クラスによってバラツキがあるのは例年の通りです。この数字が緩かながら上昇しておりますので、少しほっといたしました。これは昨年秋行った「奈良高専必読図書100選」選定等の効果の表れかと思われます。図書室では本がよく利用され、読まれる事を願っています。この後もドンドン図書室へ足を運んで下さる事を期待しております。

1. クラス別貸出冊数



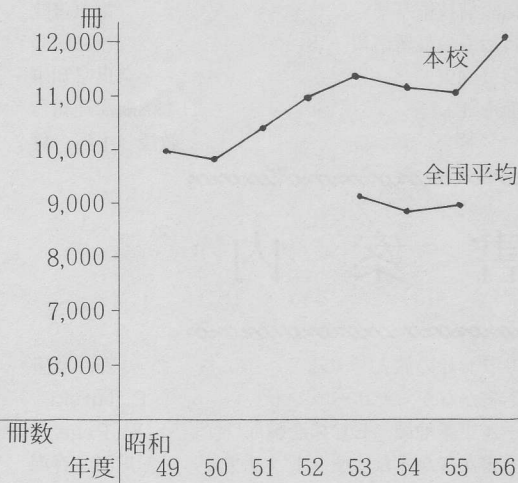
2. 分類別貸出冊数

哲学	歴史 272	自然科学 1974	工業技術 4333	芸術・体育 視聴覚 1518	文学 1889	文庫新書 1249	雑誌 488
総記 88 哲学 140	社会 160		産業 32	語学 184			

3. 分類別蔵書数 (昭和57年3月末現在蔵書数 48,364冊)

歴史 3433	自然科学 10544	工業技術 12760	芸術 体育 2145	語学 2688	文学 7603	文庫新書 3635
↓ 総記 1689 哲学 1743	社会科学 1996		産業 128			

4. 年度別図書帯出状況表



左表を御覧の通り、一応上昇線を辿っていますが、たまたま、この年は図1で分るように1Eが突出しています。こういう事は珍しい例であり、また必ずしも書籍ばかりでなく、視聴覚資料だけが目的という学生もあり、安心な状態ではありません。読書は、人生の宝です。僕も貴方も本好き、本の虫になって、これからの人生を豊かなものとするよう、図書室員は願っています。

秋！「灯火親しむの候」

へのお誘い

この年も亦、読書週間が廻って来ました。少しでも書物と図書館が学生諸君にとって身近かなものになるように、と小さなスペースを利用して過去二回、書物に関するささやかな展示をしました。

今年度の読書週間の展示コーナーは「核を考える本」ということにしました。この夏は、核兵器の廃止を訴える運動が、世界的なスケールで盛り上がり、人類の危機が一触即発のところにあることを感じさせました。次代を背負う学生諸君にも核の問題を考えてほしいと言う趣旨で、本校図書館の蔵書を中心に本を選んだものです。

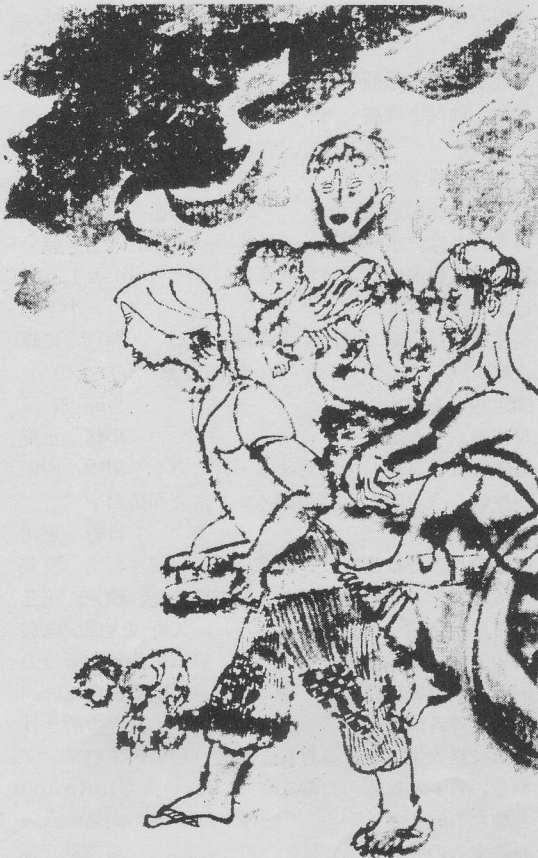
1945年（昭和20年）以来、核に関する本はそれ程多くはありませんでしたが、主に「黒い雨」や、峠三吉「原爆の詩」等の文学書等でその悪魔的な破壊力を知らされてきました。

近年、米・ソ二大国間の気狂いじみた核兵器開発についてのニュースが報じられる事によって、漸増的に核問題への関心が高まり、出版物も増えて来ています。

今年の6月、国連本部における空前ともいわれる大規模なデモが行われた事は、人類と核への関心の深さを思わせます。

将来、技術者となる学生諸君が展示されたそれぞれの書物の中から何を汲みとり、何を感じるか、そしてその事がどのように生かされるか、という事がこの展示をする目的です。

今後の参考の為に、何でも結構です。御意見、感想、希望等お寄せ下さい。



丸木俊画（岩波ジュニア新書6から）

寄贈図書

寄贈者と書名は次の通りです。大切に利用して下さい。

朝永振一郎著作集 (全12巻)	日本アイ・ビー・エム(株)	電気設備技術基準	電気書院
半導体百科	(株)マーコム・インターナショナル	色盲治療の最新情報 '81	和同会
送配電工学	名誉教授 今西周蔵	奈良公園史	奈良県知事
ぎんざ 1982	日本リクルートセンター	内航海運	日本内航海運組合
青春、日本列島の旅	日本ユース・ホステル協	秋 篠	教授 小谷 稔

新着図書案内

<総記>

行為としての読書 (岩波現代選書)	Wolfgang Iser
本を読む本 読書家をめざす人へ	M. Adler, C. Doren
研究者、研究課題総覧1981自然科学編 補遺版	
世界大百科年鑑 1982	平凡社
極意の話	武村 武
心の弱い人ほど大きくなれる	菊村 紀彦
朝日年鑑 1982	朝日新聞社
ギネスブック 世界記録事典	Norris Mcwhirter
日本の博物館1 日本美の伝統	北村 哲郎
ちくま少年図書館	筑摩書房
62 心のふしぎをみつめて	岡部伊都子
63 心の相談室	野本 三吉
64 人類の起源にいとむ男	A. Malatesta

<哲学・宗教>

初期ギリシャ哲学者断片集	G. S. Kirk, J. E. Raven
The Works of William James	F. Burkhardt
自分の再発見学	夏目 志朗
世界の聖城	講談社
別巻1 中国の泰山	沢田瑞穂(等)
別巻2 敦煌石窟寺院	柳 宗玄(等)
阿闍梨誕生	和崎 信哉
全国神社名鑑 上・下	全国神社名鑑刊行会
全国寺院名鑑 (全4巻)	全国寺院名鑑刊行会

<歴史・地理>

一億人の昭和史	1~16	毎日新聞社
日本人	1~3	"
日本占領	1~8	"
別冊一億人の昭和史	6~10, 22, 25, 29, 31, 33	
世界の教科書 歴史	1~12	ほるぶ
アトランティス 失われた楽園伝説		金子 史朗
考証武家女人奇談		稲垣 史生
図説昭和の歴史	2~12	集英社
古寺巡歴 古美術雑想		町田 甲一
聞書 西表炭坑		三木 健

アリラン峠の旅人	安 宇植
誰も書かなかったポーランド	R. Turски
ルール工業地域 ECの心臓部	W. Pege
誰も書かなかったオーストラリア	黒田 春海
謎のイースター島	J. M. Schwarz
岩波 西洋人名辞典	岩波書店編集部
日本人の自伝	平凡社
4 田岡嶺雲・長谷川如是閑	
10 河上肇・石川三四郎	
19 横山大観・三宅克己・山田耕筈	
敦煌石窟、美とところ (NHKブックス)	田川 純三
ダーウィンとビーグル号	Alan Moorhead
地理学辞典 増補版	日本地誌研究所
最新 地理学辞典	藤岡謙二郎

<社会科学>

日本人の深層意識	林 知己夫・米沢 弘
日本の条件 1~6	日本放送出版協会
民主体制の崩壊 (岩波現代新書)	Juan Linz
日本国憲法 (写楽ブックス)	小学館
司法の法社会学 (現代法選書15)	潮見 俊隆
資格試験のすべて 83年版 (資格と特技シリーズ)	
固定観念を脱する法	邱 永 漢
現代資本主義論	小林 正雄
最新版就職試験面接の受け方・答え方	田中 四郎
面接はこうする、就職面接・ビジネス面接のすべて	日野 恵司
面接の心理と技術 (教養選書11)	堀川 直義
現代経済学4 所得分析	小泉 進、建元 正弘
日本国勢図会 1982年版	矢野恒太郎記念会
昭和57年日本の白書	日本情報教育研究会
国際連合世界統計年鑑 1978/80	国際連合統計局
最新世界各国要覧	世界の動き社
豊橋技術大学における教育と研究	豊橋技術科学大学
おじいちゃんは死んだのです	Earl A. Grollman
教師たちの犯罪	大島 幸夫
原弥生人の渡来	鳥越憲三郎
年中行事図説	民族学研究所

<自然科学>

精密測定改訂2版 (機械工学講座9)副島吉雄(共)
 材料力学(最新機械工学シリーズ14,15)渥美 光(等)
 材料力学ノート、設計の視点とその基礎 坂本 勇
 石油が潤れる日「あすのエネルギー」 読売新聞
 オフィス・ロボット時代 和多田作一郎
 マイコンによる知的生産の技術 脇 英世
 産業構造と技術革新 産業技術会議 産業技術会議
 国際比較日本の技術力 森谷正規 祥伝社
 力学的振動の類学モデル R. Habermen 現代数学社
 交通流の数学モデル R. Habermen 現代数学社
 個体群成長の数学モデル 現代数学社
 工業計測便覧 精学会計測自動制御学会コロナ
 工業計測、問題と解答 松代正三 産業図書
 設計実務に役立つ材料力学 渡辺昭俊 日刊工業
 材料力学史 Stephen P. Timoshenko 鹿島出版
 塑性学 R. Hill 培風館
 工業材料便覧 幡野佐一 日刊工業
 エネルギー科学双書 4 共立出版
 総合エネルギー講座 1~8 オーム社
 岩波講座情報科学 3, 17, 18, 23 岩波
 自動制御 佐藤達男、佐藤雄司 学献社
 マイコン用語辞典 マイクロプロセッサ教研電波新聞
 Z-80マイクロコンピュータ W. Barden 丸善
 オンラインネットワークの構造的設計 田友義久
 近代科学社
 エンサイクロペディア・アスキー1-6 アスキー
 コンピュータ用語辞典 A・チャンダー 講談社
 パーソナルコンピュータ入門 森下 巖 昭晃堂
 誰にでもわかるマイコン入門 桑山義明 日本実業
 図解パソコンが使えるまで 緒方健二 誠文堂新光社
 オフィスオートメーション入門 中村茂 オーム社
 制御用マイコンの作り方・使い方 北川一雄 オーム社
 標準CP/Mハンドブック Rodnay Zaks アスキー
 計算機における数値計算法 B. Cannahan
 日本コンピュータ協会
 効果的プログラム開発技法 国友義久 近代科学社
 やさしいコンパイラの作り方 中西正和 共立
 マイコン入門 マイコン研究会 コロナ社
 図解マイコンのためのBAS IC入門 小牧常松オーム社
 実務BASIC入門 C. J. Sass 啓学出版
 オペレーティングシステムの基礎 A.N.Hapermaun 培風館
 コンピュータとデータ通信 H. S. Stone CQ出版
 ビジネス用マイコンBASICプログラムの作り方
 笠原耕文 日本実業
 図解コンピュータシリーズ オーム社
 オペレーティング・システム入門 江村潤朗
 仮想記憶システム入門 山谷正己
 データベース入門 穂鷹良介
 ストラクチャード・プログラミング 国友義久
 データ通信システム入門 保坂岩男
 コンピュータディスプレイによる図形処理工学

山口富士夫 日刊工業
 太陽エネルギー 押田勇雄 日本放送出版
 技術の歴史 14 20世紀 その4 筑摩書房
 研究テーマ事典 日本ビジネスレポート編
 日本ビジネスレポートKK
 第6の頭脳 品川嘉也 創拓社
 実用発明六法 発明学会 実業之日本
 経営工学シリーズ 日本規格協会
 1, 3, 6, 7, 9, 12, 16, 17, 20
 JISハンドブック 1981 日本規格協会
 1~8, 11, 14, 15, 20~23, 28
 大気汚染の公害計測 柳沢三郎 日本規格協会
 つくりながら学ぶやさしい工学 I, II
 アン & スコット・マクレガー 草思社
 歴史的町並事典 西山卯三 柏書房
 機械設計演習 鳴滝良之介(等) 学献社
 天井クレーンの計画と設計 坂本種芳 理工図書
 放射線工学 電気学会通信教育会 電気学会
 工作機械の電気読本 杉山武司郎 オーム社
 The Bipolar Digital Integrated Circuits Data
 Book 1, 2 日本テキサスインスツルメンツKK
 電気の技術史 山崎俊雄 オーム社
 ホログラフィーの基礎と実験 松下 昭 共立
 ホログラフィー入門 J. Ch. Vienat 共立
 絵とき電気理論 福田 務(等) オーム社
 電離気体論 電気学会通信教育会 電気学会
 家庭の電気工学 家庭電気文化会 オーム社
 電気工学入門演習 1~3, 5, 9, 12 学献社
 専門分野別電気工学用語集 コロナ社
 パワエレクトロニクス 今井孝二 電気書院
 信号理論の基礎 高橋進一, 中川正雄 実教出版
 電子工学概論 関 英雄 電気学会
 実用電子回路ハンドブック 1~4 CQ出版
 絵とき電気の知識ABC 福田 務 オーム社
 ポイントマスター電気 牧野秀雄 オーム社
 回転塑性加工学 葉山益次郎 近代編集社
 金属強度の物理学 Peter Haasen アグネ
 超塑性と金属加工技術 超塑性研究会 日刊工業
 脂肪酸化学 稲葉恵一, 平野二郎 幸書房
 初級セラミックス学 曾我直弘 アグネ
 電子材料の化学 笛木和雄(等) 丸善
 窯業工学ハンドブック 窯業協会 技報堂出版
 粉の秘密・砂の謎 三輪茂雄 平凡社
 界面活性剤等一覧表 日本界面活性剤工業会
 化学工業安全 北川徹三 コロナ社
 日本色名大鑑 上村六郎、山崎勝弘 甲鳥書林
 日本上代織技の研究 川島織物研究所

<産 業>

200 カイリ時代と日本の水産 川崎 健 恒星社厚生
 日本の地場産業 一伝統的工藝編一 通産企画調査会
 計測の文化史(朝日選書203)橋本万平 朝日新聞社

日本の庭 名園編 重森三玲 毎日新聞社
 同 作庭・素材編 重森完途 “
 CMパワー 西村五洲 サンケイ出版
 泊ってみたいペンション100 寺下正康 日本交通公社

<芸術>

音楽大事典 3 シ～テ 平凡社
 ポピュラー・レコード '82 浅香 淳 音楽の友社
 お能 白洲正子 駸々堂
 若者のすべて(ヴィスコンティ秀作集6) 新書館
 プロ野球の男たち 野村克也 朝日新聞社

<語学>

The Second Language Classroom James E.
 Alatis Oxford Uni. Press
 カタカナ用語の意味がわかる辞典 日本実業出版社
 天声人語 英文対照 '82春の号 朝日新聞論説委員室
 試験にでてくる英単語 森 一郎 青春出版社
 英会話のリズムとイントネーション 東後勝明 金星堂
 Deutsche Sprache von Helmut Liebsch & Helm-
 ut Döring VEB Bibliographisches Institut
 DUDEN 10 vols, Bibliographisches Institut
 Dudenverlag
 Wörterbuch zur Valenz und Distribution deutsch-
 er Verben by G. Helbig, W. Schenkel
 VEB Bibliographisches Institut
 Millel hochdeutsche Grammatik by Herman Paul
 Max Niemeyer Verlag
 Grundzüge einer deutschen Grammatik by E. Hei-
 dolph W. Flämig und W. Motsch Akademieverlag
 Deutsche Syntax by Otto Behaghel
 Carl Winter's Universitätsbuchhandlung

<文学>

メルヘン案内、グリム以前、以後 宮下啓三(NHKブックス)
 椋鳩十の世界 たかしよいち 理論社
 古典を読む本 藤井貞和 日本ブリタニカ
 青い棘 三浦綾子 学習研究社
 開幕ベルは華やかに 有吉佐和子 新潮社
 もうひとつの青春 安岡章太郎 ペっぶ出版
 錨のない船 上・下 加賀乙彦 講談社
 エロイカ変奏曲 三田誠広 角川書店
 さよならジュピター 小松左京 サンケイ出版
 悦子逆転 山中 恒 光風社出版
 このアンビバレンツな青春 五木寛之 山手書房
 本・子ども・絵本 中川季枝子 大和書房
 その愛は損か得か 石川達三 新潮社
 明日(あした) 井上光晴 集英社
 華麗なる地平線 笹沢左保 中央公論社
 いのち生まれるとき 早船ちよ 理論社
 つかのまの二十歳(はたち) 畑山 博 集英社
 愛の影は長く 芹沢光治良 新潮社

旅路 自伝小説 藤原てい 読売新聞社
 疑惑 松本清張 文芸春秋
 輝ける碧き空の下で 北 杜夫 新潮社
 よくない文章ドク本 橋本 治 大和書房
 言葉あそびがたり 川崎 洋 新潮社
 ムツゴロウのにっぽん大旅行 畑 正憲 日本交通公社
 マンボウ人間博物館 北 杜夫 文芸春秋
 ことばを読む 井上ひさし 中央公論社
 会えてうれしい花いちもんめ 神津カンナ 集英社
 人間の死にぞま 五味康祐 新潮社
 旅はプリズム 江国 滋 朝日新聞社
 もう一つの満州 沢地久枝 文芸春秋
 いくさ世(ゆう)を生きて 真尾悦子 筑摩書房
 北富士の女たち 安藤登志子 社会評論社
 ながい旅 大岡昇平 新潮社
 川端康成全集 26, 30, 33 新潮社
 老舎小説全集 7, 火葬・私の一生 学習研究社
 ロマン・ローラン全集 11, 18, 31, 41 みすず書房

<全集・文庫・新書>

東洋文庫 唐代伝記集(等) 56冊 平凡社
 現代教養文庫、文章作法(等) 24冊 社会思想社
 岩波ジュニア新書 岩波書店
 44 カレンダー日本の天気 高橋浩一郎
 45 日本の美術・その形と心 水尾比呂志
 46 食糧問題ときみたち 吉田 武彦
 47 最新科学の常識 星野 芳郎
 48 広島・長崎修学旅行案内 松元 寛
 49 元素の小事典 高木仁三郎
 岩波新書(黄版) 岩波書店
 185 徒然草を読む 永積 安明
 186 人間の生と性 近藤 四郎(等)
 187 日本文化史 家永 三郎
 188 働くことの意味 清水 正徳
 189 翻訳語成立事情 柳父 章
 190 現代日本社会と民主主義 渡辺 洋三
 191 関節炎と神経痛 佐々木智也
 192 西部開拓史 猿谷 要
 193 小説はいかに書かれたか 篠田浩一郎
 194 一揆 勝俣 鎮夫
 195 現代の核兵器 高榎 堯
 196 憲法第九条 小林 直樹
 阿Q生伝・狂人日記(岩波文庫) 鲁迅 岩波書店
 動物農場(角川文庫) George Orwell 角川書店
 人間へのはるかな旅(角川書店) 森川哲郎 “
 われら動物みな兄弟(角川文庫) 畑正憲 “
 冬の旅(新潮文庫) 立原正秋 新潮社
 さぶ(新潮文庫) 山本周五郎 “
 ギリシャ神話 付 北欧神話 山室 静 社会思想社
 女性に関する十二章(中公文庫) 伊藤 整 中央公論

(以下次号)